

東由利村報

No.182-①
 発行 秋田県東由利村役場
 昭和47年8月1日発行
 印刷 印 刷
 KK本間印刷所

総数	6,990
男女	3,423
世帯数	3,567
村の人口	1,552

議長に長沢氏

副議長に梅津氏決まる

新村議会スタート

新議会議員として初の議会となる第四回東由利村議会臨時会は七月二十四日役場に招集され、正副議長の選出や議席・常任委員会の構成……などを決め、今後の村議会体制を整えました。

正副議長に 小松豊 小野昭一 長沢 体制を整えたものです。
 ついては選 梅津二三雄 阿部幸悦
 挙の結果、長 佐藤文一郎
 沢毅氏が議長 教育民生常任委員会
 副議長に 長谷山千代蔵 木島正造
 藤原虎之助 高橋重助
 産業経済常任委員会
 常任委員は、小野昭一議員
 の提案による、村議会委員会
 条例の一部を改正する条例の
 制定に関する第一号議案を原
 案どおり可決し、それに基づ
 いた各常任委員が次のとおり
 決まりました。(◎印は委員
 長○印は副委員長)
 総務常任委員会



村内各所に大きな爪跡

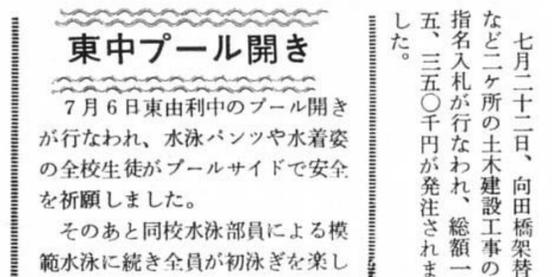
防災の心がまえを忘れないで

七月八日から九日まで降った雨は県内全域に大きな被害を与え、総額二百二十五億円にもなりました。

特に県北の二ツ井町や能代市の被害が大きく、降雨量も山岳地帯では三〇〇ミリ以上を越えました。

本村の総降雨量は一四二ミリで、昨年七月三日の一四七ミリに次ぎ、農業関係や土木関係に大きな爪跡を残しました。

その主なものを拾ってみると、水田の冠水、コンクリートの倒伏、揚水機(農業用)流失、二基・農業水路の欠損四カ所、延長一七〇メートル・同埋没一カ所、延長二〇〇メートル・村道の欠損や埋没、亀裂等の被害七カ所、林道同十三カ所、その他園



東中プール開き

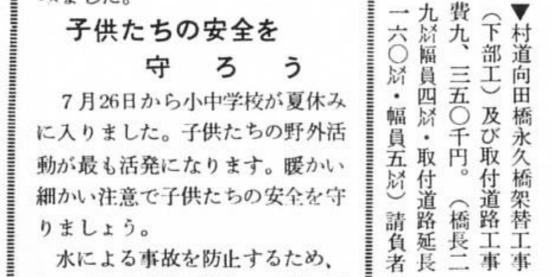
子供たちの安全を守ろう

七月六日東由利中のプール開きが行われ、水泳パンツや水着姿の全校生徒がプールサイドで安全を祈願しました。

そのあと同校水泳部員による模範水泳に続き全員が初泳ぎを楽しみました。

水による事故を防止するため、決められた場所(村内14ヶ所)以外での遊泳は絶対させないようし、定められた場所には、万のときでも充分活動できる人を監視人に選びました。

中学校プールも各小学校単位の使用日割が定められています。きまりを守って大いに利用しましょう。



向田橋架替発注

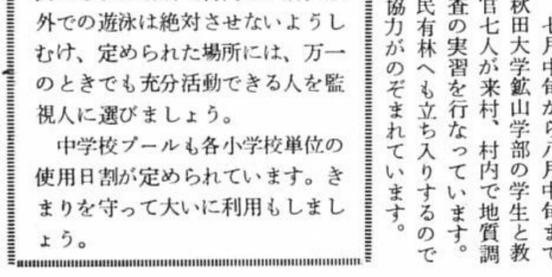
茂沢線道路改良も

七月二十二日、向田橋架替など二ヶ所の土木建設工事の指名入札が行われ、総額一五、三五〇千円が発注されました。

九尾編員四員・取付道路延長一六〇メートル・幅員五メートル、請負者 協力がのぞまれています。

七月中旬から八月中旬まで秋田大学鉱山学部の学生と教官七人が来村、村内で地質調査の実習を行なっています。

民有林へも立ち入りするので協力がのぞまれています。

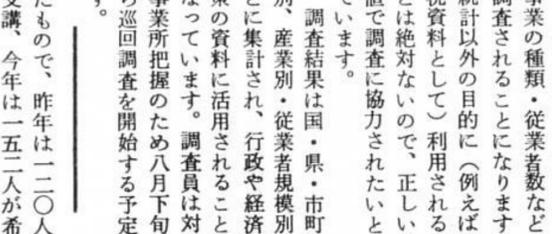


戦没者追悼式

8月23日高校で

日清、日露、大東亜戦争の戦死病死者の追悼式を八月二十三日、本荘高校下郷分校で執行する予定です。

ご遺族多数の参列をお願いします。



ことぶき大学開講

バラエティな内容で6回予定

七月五日、新町会館で昭和四十六年度の「ことぶき大学」の開講式が行われ、全村各地区から参集した百余人の学生を代表して、阿部祐次郎さん(十二前)が「ことぶき大学での学習を、家庭の和づくり、明るい村づくりに役立つ村づくりに役立ちます」と力強く誓い、開講式を終りました。

続いて第一回目として、秋田県新報社政治部長、森可昭氏による「世相の移り変りと老人の生活」と題する一般教養講座が行われ、「……本当の人生は六〇歳の余生を送るときから始まる。明るく伸び伸びと生活し、若い者の人生航路を導く灯台になってもらいたい……」と激励をうけました。

このことぶき大学は、村民館が老人に学習と交流の場を提供し、家庭や地域における老人の地位を確立させることを目的に、昨年から開設されています。

水緑太 陽、自 然と交 通網整 備の 経済 基盤の 確立、 道路整 備を主 として 育成の 育成を 後継者 育成を 老人に 差解消、道路整備による産業の発展等に力を注ぎたい。

小野昭一 通網整備の

川尻幾郎 基礎の確立、道路整備を主として

遠藤正男 後継者育成を老人に

明く、豊 かに、住みよ い郷土 暮らし、 指導の 指針を 仰ぎな がら、 諸氏の 先賢の 意を継 ぎ、村 民の意 志を反 映した 産業基 盤の拡 大と農 業後継 者対策 に取組 みます。

梅津二三雄 〇年代 に対する 激しい 東

高橋俊一 過去の 八年間 の経 験を生 かし、 地域社 会の発 展と村 民皆々 の幸福 のため 張り心 算であ ります。

農村 人に共 通する 自己の 老現 意欲の 停滞 からの 脱し清 新

阿部幸悦 人に共 通する 自己の 老現 意欲の 停滞 からの 脱し清 新

長谷山千代蔵 住民の 村政を 自覚し こと

小松与惣雄 村道の 改良を 促進、 立地条 件を生 かし、 観光開 発(スキ ー場等) や産業 振興に 専念し 若者に 夢を与 えます。

新議員の 顔 横

長谷山千代蔵 住民の 村政を 自覚し こと

小松与惣雄 村道の 改良を 促進、 立地条 件を生 かし、 観光開 発(スキ ー場等) や産業 振興に 専念し 若者に 夢を与 えます。

常 村民の 卒直な 意見に 耳を傾 け、誰と 進んで 対話し、 村政への 橋渡しを 忘れず自 分の行動 に責任を 持ちたい。

長谷山千代蔵 住民の 村政を 自覚し こと

小松与惣雄 村道の 改良を 促進、 立地条 件を生 かし、 観光開 発(スキ ー場等) や産業 振興に 専念し 若者に 夢を与 えます。

体育 総合の 振興 青少年の 健康 育成を はかり、 生産性の 向上と 福祉行政 の推進で 経済並 に民生の 安定に努 力する。

長谷山千代蔵 住民の 村政を 自覚し こと

小松与惣雄 村道の 改良を 促進、 立地条 件を生 かし、 観光開 発(スキ ー場等) や産業 振興に 専念し 若者に 夢を与 えます。

開場 整備の 早期完 成で労 力を節 減、林道・ 牧道の 拡幅整備 をはかり 植林や畜 産の振興 を進め 村の発展 を計りたい。

長谷山千代蔵 住民の 村政を 自覚し こと

小松与惣雄 村道の 改良を 促進、 立地条 件を生 かし、 観光開 発(スキ ー場等) や産業 振興に 専念し 若者に 夢を与 えます。



高村チームに四度目の栄冠

◎◎ 全村家庭バレーボール大会 ◎◎ 全チームも技術が向上

七月二日、中学校体育館と高校体育館を会場に全村家庭バレーボール大会が開催され三七チーム四〇〇人を越す選手が終日熱戦を展開しました。役員や応援にかけつけ一般村民を含めると千人以上になり、三面のコートを取ったさすがの中学校体育館もパンクしそ

うでした。家庭バレーボールは、老若男女誰もが手軽に、どんな場所でも行なえる簡単な競技でルールもやさしいことから本村でも爆発的に普及、レベルは年々向上しています。成績は四連勝をめざす高村チームが順当に勝ち進みDブロックの高下屋チームを破って決勝に進出、準決

闘で通う全部の子供たち(六人)が、友だちのたくさんいる本校通学を希望していることを訴え、子供たちが自分たちの幼い当時のようにママ子扱いを受けることのないよう、人間関係を円満にさせる意味からも本校通学に強い期待を寄せ、分校問題と通学対策に新たな波紋を投げかけました。

分校通学に波紋も

祝沢家庭教育学級

祝沢部落の母親たちは、地的閉鎖性、後進性から脱皮し、子供たちを健やかに成長させるためには家庭教育が大切だと、村公民館とタイアップ、家庭教育のあり方など母親自身の学習のために家庭教育学級を開講しています。七月一日はその二回目です。祝沢分校を会場に一三人の母親たちが集い「うちの子に

料理講習会好評

商工会 今後も開催します

村商工会(佐藤要次会長)は七月一七日本庄高橋下郷分校に丸野内駿氏(秋田市如斯亭支配人)を迎え、料理講習会を開催、調理実習室にあるばかりに集った約八〇人の婦人たちが好評を博しました。この料理講習会は近づくお盆を前に、豆腐やナスなど身近な材料で簡単に、然も栄養講をのぞんでいます。

村民の福祉を優先

村開発基本構想(その三)

前号に続き、村開発基本構想の最終回として、生活環境等の整備計画を中心に掲載してみます。まず住民生活に密接な関係にある各施設等の現況をみてみましょう。

立ち遅れ目立つ環境

水道は普及率二割と郡内で最も立ち遅れ、ゴミ処理は方法を検討するにせまられています。医療施設も二医院、二歯科医のほか週一回開設のへき地診療所、厚生連由利組合病院の診療所がありま

総合的な施設の整備

こうした現況から昭和四十五年年度に発足した本庄由利広域市町村圏振興計画に基づく消防救急体制の強化・生活環境施設(し尿処理、ゴミ収集処理等)の整備拡充・母子センター・老人福祉センター・軽費老人ホーム・教育文化センター・スポーツ公園等各

種研修研究施設の建設によって圏域住民の福祉向上と、文化の向上をはかること、村内においては、へき地保健福祉館の建設・部児童館・遊園地・保育所等の整備拡充が主要課題になります。

防災は、村中心地に常備消防分署を設置・救急業務と併せて常備体制を強化、非常備消防は分団体系の再編を検討しつつ、消防ポンプ自動車・ポンプ積載車を配備します。また消防体制は消火栓の設置や防火水槽の整備で施設の充足率六〇割を目標にします。

小中学校は、児童、生徒の減少により複式化や小規模校化し教育レベルが低下するのを防止するため、できるだけ早い機会に統廃合を行ないます。そして、学校規模を適正化し、教育水準の維持向上をはかるため、設備内容を充実します。

これに伴う通学対策として、スクールバスを購入して主要路線に配置、通学の円滑化をはかります。保健婦の巡回指導、定期保健指導の強化をはかる一方、

勝A・Bブロックの勝者蔵チームと対戦、「ソウレツ」の大声援がとぶ中で決勝戦にふさわしい伯仲した試合で観衆を魅了し、結局高村チームが2-1で四度目の王座に上りました。主催の村公民館では、「はじめての室内競技であったが参加者全員の協力でますます」モラルの不足が目立つ。公共物は皆んなの財産 大切に

大庭邦子さん(東中1年) 走高跳(女子)で全県一に



七月二十三日、秋田市八橋陸上競技場で開催された第21回全県中学校陸上競技大会兼第18回全日本中学校放送陸上競技大会に出場した東由利中一年の大庭邦子さん(大琴要二さん長女)は、女子走高跳の部で、全県から集った四四人の強豪を相手にみごと一位の栄冠をかち得ました。

成績は一層四五の県記録に僅か一歩不足の一層四四でつぎそい安藤先生は「県記録の更新をねらって一層四六に挑んだのが失敗、タイ記録は確定だった……」と残念がっていました。また男子一〇〇斤ハードル競技に出場した小松忠広君(保健所とも提携して検診体制を強化、患者の早期発見と早期診療体制を確立します。

断し土足で上らない。④公共物は来たときよりもきれいに(バナナの皮、弁当のつつみ紙、各種の食べカスなどを残さない)して帰る。など。家庭バレーボールは利点(いつでも、どこでも、誰もが手軽に楽しめる)を生かし、競技会用のレベルアップだけでなく、男女を問わず、部落・職場・グループ等で常時とられ楽しんでもらいたいものです。

老人の福祉向上のためには老人クラブの育成助長に努め、健康検査や医療の充実をはかります。また、広域、あるいは共同事業による老人憩の家・老人福祉センター・軽費老人ホーム等の建設を促進します。

幼児・児童については、児童館・遊園地・水泳プール等の整備をはかります。また、へき地保健福祉館を建設し、当該住民の保健・福祉・研修集会の場に活用します。

これら多様な事業を円滑にするために、行政面では事務機構を合理化し企画調整機能の強化・職員の資質向上と適正配置・広報公聴活動の充実と配慮、財政面では自主財源の確保と経常経費の削減・物品の集中購買や管理による投資的経費への適正な財源充当にとめます。

七月十六日、大内町で郡内全市町村から十一チームが参加して開催された、第五回県商工会野球大会由利郡予選で本村商工会青年部チームは準決勝まで駒を進めました。地元大内町チームに2-3で惜敗、県大会出場はなりません。しかし、この成績は第一回大会の準優勝に次ぐ好成績で、来年度の開催地は本村に予定されており、必ず雪辱を期したいと今から意気込んでいます。

経営移譲の農業主に大臣褒賞 昭和四十七年度から、農業経営の若返りと優秀な経営担当者の確保を目的にした「老令経営主経営移譲促進事業」が開始され、該当経営主が後継者に経営を移譲した場合は農林大臣の褒賞が受けられることになりました。

これは、戦中戦後を通じて農業生産の中心の担い手であった人たちの多くが大正五一年一月一日以前の生れで、農業者年金の恩典に浴せないうことを補完することも目的として行なっています。

この褒賞は、毎年一回、十一月に行なわれる県の農業祭に合せて感謝状および副賞(銀盃)が授与されることになっています。

褒賞の対象となる経営移譲は六五才未満の経営主がその直系卑族である後継者一人について行うことが条件で、後継者の農業者年金加入も義務づけられます。

八月以降のゴミ収集日 八月以降のゴミ収集は、七月の収集日程と同日に実施することにしますが、お盆にかかる地区について今月限り次々と変更されます。

変更した収集日と対象部落 [16日]横小路・上通・中通・下通・湯出野・寺田・上里 [17日]新町・岩館・野田・新丸・桂台・十二前・小倉 [18日]宮の前・島・蔵新田・横渡・宿・下吹・大琴・舟木・畑村・奥ヶ沢・蔵

誕生おめでとう 佐藤一裕 下小屋 文雄長男 佐藤猛彦 中通 孝一郎長男 阿部亜希子 中通 長悦長女 佐藤真樹 大吹川 謙一長男 千葉寛康 島 寛 長男 斎藤好広 家の下 清勝長男

結婚おしあわせに 工藤勇典 新田代処 渡辺そよ 田代山 佐藤順 時雨市 猪股まさ子 本庄市 遠藤重治 玉宿田 鈴木和子 宿新田 佐々木恵子 大蔵 小松

〇死亡お悔み申上ます 千葉長 吉 中の沢 50歳 荻野トシヨ 下小路 58歳

慶弔だより 6月26日~7月25日

東由利村報

No.182-②

発行
秋田県東由利村役場
昭和47年8月1日発行
印刷
KK本間印刷所

総数	6,990
男	3,423
女	3,567
世帯数	1,552

心のさと
はるさ
川ふる

汚すまい捨てるまい

館合共済団二度目のゴミ作戦

生活環境を美化する運動が全国的に展開されており、日ごとに住民の関心を高くしています。

本村でも蔵地区や大琴地区に始まった住民の自主的クリンアップ作戦が全村に浸透行政と手を携えてあらゆる角度から取り組まれ、大きな効果をあげています。

館合共済団(高橋俊一団長・団員一三人)は、さきにも館西地内のゴミ一掃に取り組みましたが、七月二十三日掘り切り橋下などを重点に同地区最後の作戦に取り組んで

きれいにしました。

しかし、黒淵地区の一部には未処理のところが散見されており、地域の自主的処理がのぞまれています。

県環境衛生課と県地区衛生組織本部では、ゴミの不法投棄を防止し河川をきれいにする運動を本年度の重点目標に定め、次の五つのことを提唱しています。

- (1)川は心のふる里、いつまで
- (2)お
- (3)一
- (4)捨
- (5)川

脳卒中予防検診

九月上旬に

成人病予防の一環として行なわれた第一次住民検診(七月三日から十四日まで三〇才以上の住民を対象に行なった血圧測定や問診。結核検診と

快適な生活を営むために、村内のすみずみから醜いゴミ堆積場所を一掃、河川等への不法な投棄をやめましょう。

成人病予防の一環として行なわれた第一次住民検診(七月三日から十四日まで三〇才以上の住民を対象に行なった血圧測定や問診。結核検診と

みんな受けよう

ガン検診

成人病の代表格で生命を脅すガンの魔手から未然にのがれるために、村では毎年ガンの予防検診を実施しています。本年度も、由利組合総合病院の移動検診車を依頼、八月上旬に胃検診、同下旬には婦人ガンの検診を実施します。

自分の生命を自分で守る最善の方法は、進んで

ガン検診を受けることですが、昨年の受診成績は胃検診で一人、婦人ガン検診で九七人とあまり芳しいものではありません。

そこで本年度は、胃検診・婦人ガン検診のそれぞれに昨年実績のほぼ倍に当たる二〇〇人を予定、国保加入の被保険者には、八百円の受診料のうち三百円程度を助成することにもしており、多数の受診がのぞまれています。

なお昨年の検診結果では、ガン患者の発見はありませんが、要治療、要注意の判定を受けたものが胃検診で四一人(34・4割)婦人ガン検診で

一三人(11・4割)となっており検診が予防に果たす役割の大きいことがあげられます。

受診希望は別に取りまとめていますが、胃の検診は八月八日蔵小・同九日玉米小で午前五時半から行なわれます。

自衛隊員募集中

七月一日から九月三十日まで、本年度第二次の自衛隊員募集期間に定められ、二等陸士、二等海士、二等空士を募集しています。

次により試験が行なわれ、すので希望者は受験してください。

▼期日 8月25日・9月22日

▼持参品 筆記具

▼場所 本庄保健所

▼期日 8月24・25日

▼場所 本庄保健所



部落紹介

中の沢

小倉部落から先は、小型自動車通行がようやくで、村境白沢峠の先は通行不能といふ幻の県道、神岡・坂部・横渡線の早期全線改良を待ちながら、肩を寄せ合うかのことにひっそりとした七戸のミニ部落が中の沢で、村中心地から約九キロあります。

この部落には、イボ取りで雄平仙三郎や本庄市に広く知られる大石観音が祀られてお

り、願をかければどんなイボでもきれいにとれるとして、今だに多くの参拝者があります。

同部落を一望に見下せる高い山の中腹に建立されているお堂の内には献上された多くの絵馬と無数の小石が飾られ信者の多かつたことを偲ばせています。

米が唯一の産業である同部落は、プラスチックの農業を旨とし、一時は肉用牛の多頭飼育にも取り組みましたが冬場の収入源としては少なすぎたことから、男子のほとんどは出かせぎに出、残された老人と子供だけでは充分な飼育もできず、現在では最盛時の四分の一以下の頭数に減っています。

冬期間は、二層近い雪の中に取り残される老人と子供だけが留守を守り、ひたすら出かせぎに出た家族の無事を祈

幅員がなく、村の大型除雪機械も入れない同県道は、冬期間の同部落を陸の孤島に閉ざしてしましますが、部落民は「住めば都、いまさら移転は考えない」ときっぱり言い切り、唯一の生命線である県道の拡幅と峠(大森町部分)改修の早期実現に大きな期待を寄せています。

現在のところ、こうした不便なミニ部落ですが、部落民の連帯意識は強く、村の助成を得て昔の馬場を改良、部落運動場(約四五〇平方メートル)を全村にさがけてつくるなど旺盛な進取の意欲もみせており、同県道の全線改良で平鹿・仙北との交流による発展に夢を託しています。

人口二八人、大森町坂部部落まで約二キロ。

【写真】大石観音堂の絵馬

みんなの声
みんなの声
みんなの声

豊かな村づく

反映さ

みんなの声
みんなの声
みんなの声

村では、村民各位から寄せられるご意見やご要望のうち建設的なものはできるだけ村政に反映させるといふ積極姿勢をとっています。ところが、お寄せいただくものの中には、即座に、あるいは村独自で解決できない問題等も多く外見だけでは充分反映されないかに見受けられるものもありません。しかし、それなりに関係機関へ働きかけるなど

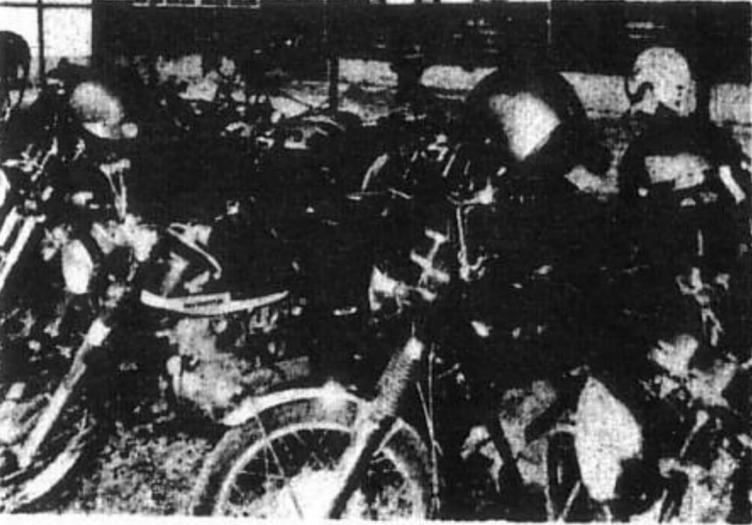
◆◆◆◆◆
今月号では、これまで寄せられたご意見等の中から幾つかを掲載してみます。
黒淵行バス増便を
田代 長谷山長一

最近では自家用車の普及でバス会社の経営も苦しくなつたと伺っています。黒淵行のバスは午前中一回しかないので大変不便です。せめてもう一便、午前十時前後に運行するよう働きかけてもらいたい。

……道路交通の確保とバス運行については、常に会社側へ要望しています。会社からは次のように回答が寄せられました。

(総務課長)

……同線(黒淵・館合間)の利用客数を数度にわたり調査したが乗客が極端



どの車にもヘルメットはついていますが… 高校で

50cc以上の自動二輪車に乗る場合はヘルメットの着用を義務づけられたそうです。最近、抱えたりハンドルにかけながら乗っている姿をよく見かけます。

自動二輪車 必ずヘルメットを

(一中学生)

して解決の方向を見出す努力をしています。……村民皆さんの声が、建設的なものである限り、……どんな小さなことでも十分尊重し、//明るく豊かな村づくり//に役立てさせていただきます。……村民の生活をできるだけ向上させ、村の発展をはかるため今後も進んでお寄せください。……なお、ご投稿等の場合は必ず本名でお願いいたします。

ずい道内の電灯 早く修理して 祝賀部落一住民

……祝賀部落一住民
ずい道(県道老方沼館線)は壁もすっきり手直しされ、毎日通行する部落民は大変喜んでいきます。しかし、十六コの電灯のうちカーブ部分の四コが昨年から消えたまままで大変不便です。すぐ点灯するよう修理してもらいたい

台山グラウンドに トイレを

整備された台山グラウンドは県内でも例をみない規模のことです。私たち村民も誇りにしています。ところが屋外のどこにもトイレがなく私たち女性は大変困っています。早くつくってもらいたい。……本年度中に実現させます。(村長)

公衆便所を考えよ

……公衆便所の維持管理は原則として県が担当することになっており、当該電灯の修繕は県へも要請中です。しかし予算等の関係があり手がまわらねているものと考えられますので、再度要請してみます。(建設課長)

村報で外来語の 解説を

……村報は月一回発行ということから紙面に十分な余裕もなく、ご要望にお応えするには無理と考えられます。電話等でおたづねいただければつとめてお答えしたいと考えています。(総務課長)

国 税 ・ 県 税

災害には税の減免手続きを

台風や火災などで災害にあつたときは税金の面でもいろいろと救済の方法があります。①農家や商業者の場合は災害を受けた金額に応じて予定納税の減額申請をすることができま

シンナー遊びを防ごう

シンナー類のガスを続けて吸うと、人体で最も大切な神経細胞がマヒし、落ちつきがなくなり、いつも不安感におそわれ、自制力を失って他人に乱暴したり盗みを働くなど異常な行動を取るようになります。

グラウンドへ車の乗り入れをやめよう

……数年、この恐ろしいシンナー遊びが青少年の間に流行、非行に走らせて大きな社会問題にもなっていますが、夏休みには特に増加する傾向にあります。シンナー類の有害ガスはトルエンなどと呼ばれるものでセメタインやボンドなど接